第2号様式 別紙2（第13条関係）

「　今熊野学区における学生と住民による移住促進拠点づくりプロジェクト　」

京都美術工芸大学　建築学部　建築学科
教授　生川　慶一郎

1,事業概要

少子高齢化、空き家の増加、コミュニティの低下が課題となっている今熊野学区（東山区）において、地域で空き家再生活用事業に取り組む NPO 法人泉山から空き家（安価に使用貸借）を提供していただき、学生が地域まちづくり活動に参加しやすく、更には移住のきっかけとなる活動拠点（簡易な修繕や DIY を施し、実際の活動ができる空間として再生）を、学生が住民と協働してつくり出していくプロジェクトである。

また、上記の学生と住民による移住促進拠点における活動として、地域で課題となっている空き家を対象に、建築分野の専門性を活かした学生ならではの柔軟な発想の活用提案を地域住民に提示し、場合によっては自ら住まう住宅を設計する等、地域活動の新しい担い手として学生が活躍できるまちづくりを目指す。

2,事業実績

時期	内容
4月～9月	空き家（活動拠点候補）の改修
9 月 29 日（日）	活動拠点のオープンハウス
10 月 13 日（日）	消火実験会と連動したオープンハウス
11 月 10 日（日）	消火実験会と連動したオープンハウス
12 月 8 日（日）	芸術学部学生主催のワークショップ

Note　学生と地域がつながれる場所を自分たちの手でつくる
https://note.com/higashiyamacds/n/ndc3b53ee8367

京都美術工芸大学 HP　トピックスで情報発信
KYOBI 建築研究会が「今熊野学区空き家再生プロジェクト」のオープンハウスを開催しました
https://www.kyobi.ac.jp/contents/topics/38729/

写真１　学生による塗装作業の様子

写真２　オープンハウス（9/29）の様子

写真３　ワークショップ（12/8）の様子

3,今後の活動について

NPO 法人泉山より紹介された空き家の改修が完工したため、次の空き家情報の提供をお願いしている状況であり、自主防災会が主催する各町内単位で行う消火実験会に参加し、地域住民との接点を増やすことで新たな活用を希望する空き家の情報を発掘することを目標に活動を継続していく。また、空き家に工事費をかけて活用するまで踏み切れない物件については、現状の建物内の掃除・点検や雑草が生い茂る庭の手入れなど、現状できることを積極的に行っていきたいと考えている。